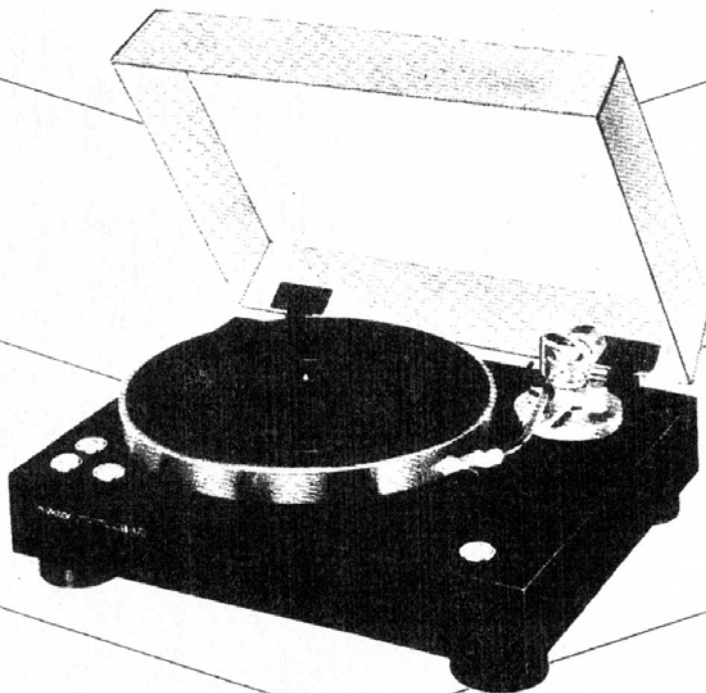


 Victor

QL-A70

取扱説明書



—お買いあげありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いいく
お読みになったあとは、大切に保存してください。

目次

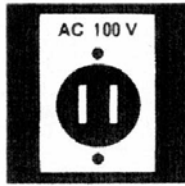
ご注意	1
準備	
開梱・組立	2
カートリッジの取り付け	2
トーンアームの高さ調整	3
針圧調整	3
キャビネットの水平調整	4
アンプへの接続	4
主要部分の名称および働き	5
使いかた	
操作	7
レコードを上手に聞くには	8
調整	
リフターアームの高さ調整	8
オーバーハング調整	8
保証とアフターサービス	9
故障?と思う前に	10
仕様	裏表紙
寸法図	裏表紙



KNOW HOW



ご注意



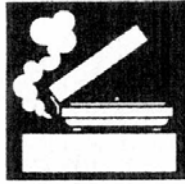
●電源

電源は かならず AC (交流) 100 V をご使用ください。
電源周波数については、50 Hz 地域でも 60 Hz 地域でもそのまま使用できます。



●電源コード

電源コードを抜き差しするとき、ぬれた手でさわったり、コードを引っばったり、折り曲げたり、継ぎ足しなどをしますと感電、火災 あるいは 断線事故の原因となります。電源コードの抜き差しには、電源プラグを持っておこなってください。



なお、旅行などで長時間ご使用にならないときには、電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

●異常現象

煙がでている、変な臭いがする……など、故障状態のまま使用すると危険です。



すぐ電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

●内部点検

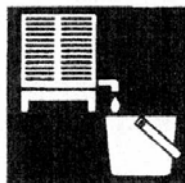
セットの内部に触れることは、危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は、販売店にご相談ください。



●水は大敵

セットの上に花びんなど、水のはいった容器は置かないでください。

もし、水がはいった場合には、電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

●設置上の注意

長くご愛用いただくためには、次の点に配慮しながら設置してください。

- ・周囲温度 5°C ~ 40°C
- ・水気や油煙の当たらない所
- ・ほこりや振動の少ない所
- ・水平で安定した所



●キャビネットの変形・変色

直射日光やストーブの近くに設置すると、キャビネットの変形・変色を招くことがあります。

このような場所には、設置しないでください。



●キャビネットの手入れ

汚れがひどい場合には、中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた柔らかい布でむらなくキャビネット全体をふきとってください。

なお、シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性のものをかけたりすると、変色することがあります。



●外国での使用

本機は日本国内用に作られていますので、電源電圧の異なる外国では使用できません。

準備

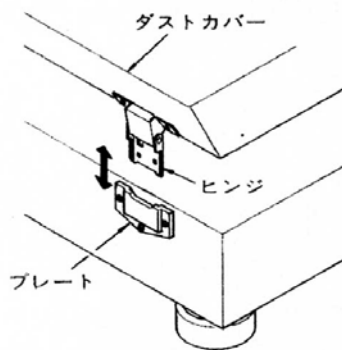
— トーンアームの高さ調整が終るまで、電源プラグはコンセントにさしこまないでください —

■ 開梱・組立

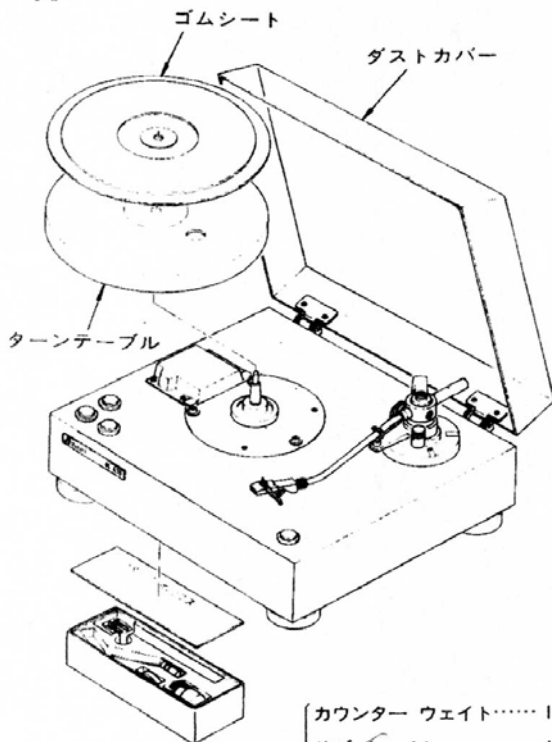
1. ダストカバーをはずしてから「準備」を始めてください。

ダストカバーは上に持ちあげますと、ヒンジの部分がはずれて簡単に取りはずすことができます。

なお、ダストカバーは「準備」が終ったあとに取り付けてください。



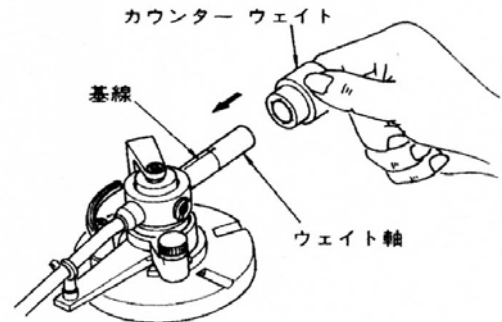
2. 別梱包されたターンテーブルやゴムシート および パーツボックスをダンボールケースから取りだします。



パーツボックス

カウンター ウェイト……… |
 サブ ウェイト……… |
 EP アダプター……… |
 ドライバー (六角)……… |
 スクリュー Ass'y……… | セット

3. パーツボックスの中のカウンター ウェイトをウェイト軸に取り付けます。

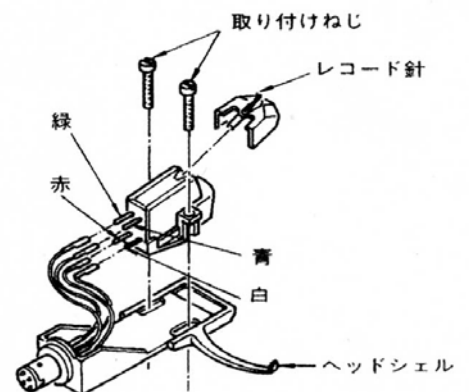


■ カートリッジの取り付け

1. 本機にはカートリッジが付いておりませんので、お手持ちのカートリッジをヘッドシェルに取り付けます。

この場合ヘッドシェルのリード線は図のようになっておりますので、極性を間違えないように注意して接続してください。

緑のリード線：「RE」または R のマイナスへ
 赤のリード線：「R」または R のプラスへ
 青のリード線：「LE」または L のマイナスへ
 白のリード線：「L」または L のプラスへ



2. カートリッジをヘッドシェルに対してまっすぐ取り付けて軽くねじ止めしておき、「オーバーハング調整」をおこなってからしっかり固定します。

なお、「オーバーハング調整」については8ページをご参照ください。

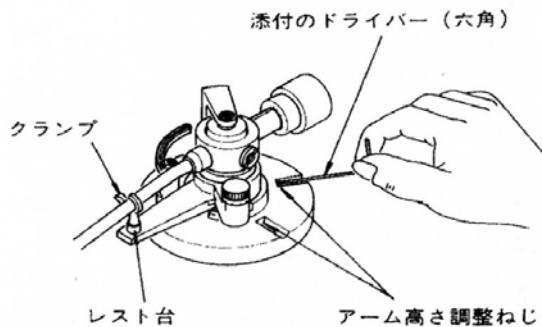
準備

■ トーンアームの高さ調整

お手持ちのカートリッジに合わせて、トーンアームの高さを調整します。

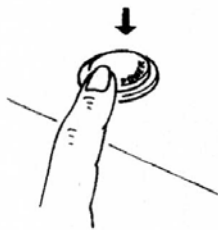
図で示すようにトーンアームは2本のねじで固定されておりますので、レスト台にトーンアームを固定したとき、針先とキャビネットの間が 38mm となるように添付の六角ドライバーで調整してください。

演奏時には、これでトーンアームが水平となります。なお、1~2mm 程度の誤差は性能上問題ありません。

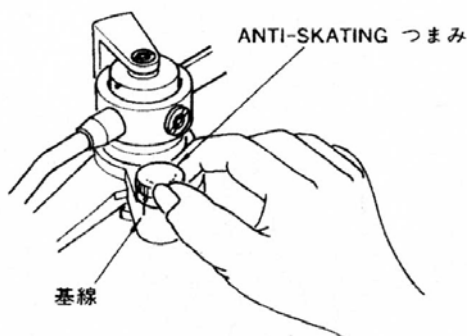


■ 針圧調整

1. 電源プラグをコンセントにさしこみ、POWER ボタンを押し (■) て本機に電源をいれます。

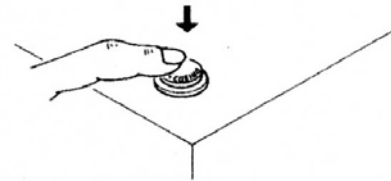


2. ANTI-SKATING つまみを "0" に合わせます。

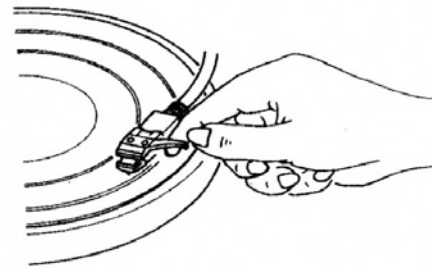


— トーンアームの高さ調整が終る

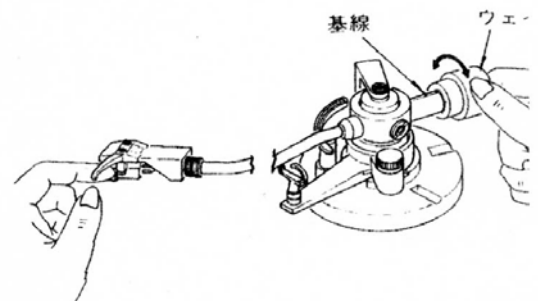
3. ターンテーブルにレコードをのせ、CUEING (キューイング) を押してエレベーターを降下させます。



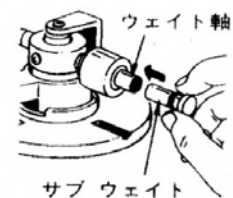
4. レスト台からトーンアームをはずし、レコードの上までトーンアームを手で持っていきます。



- 5-1. ウェイトの部分回して針先がレコード面に触か触れない位置で止めます。



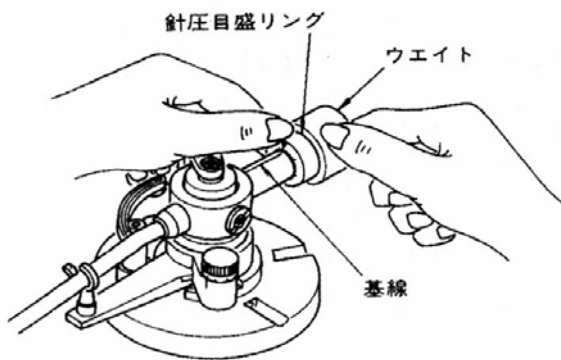
- 5-2. ゼロバランスがとれない場合は、添付のサブウェイトをウェイト軸に回転させながら一杯にさしこみます。



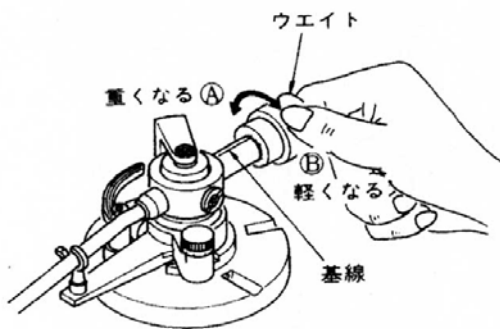
(注)・特に重いカートリッジ あるいは ヘッドシールを使用する場合、添付のサブウェイトを用いても針圧調整ができないときには、弊発売のサブウェイト SW-A70型 をご利用ください。

ラグはコンセントにさしこまないでください

6. トーンアームをレスト台にもどし、クランプします。
7. ウェイトの部分を押え、針圧目盛りリングだけを回して“0”を基線に合わせます。

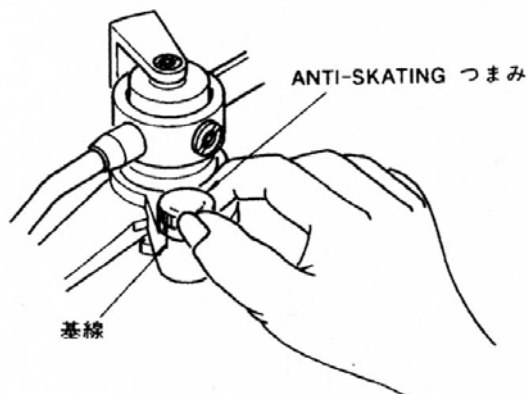


8. ウェイトを(A)方向に回し、使用するカートリッジの針圧値を基線の位置で合わせます。



(注)・針圧目盛りリングだけを動かしても、針圧を調整することはできません。

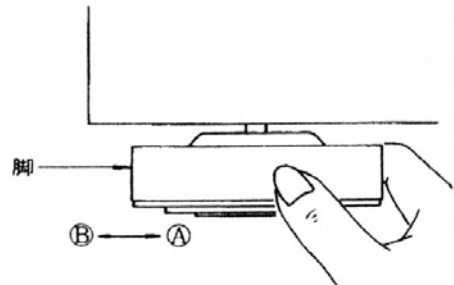
9. ANTI-SKATING つまみを使用するカートリッジの針圧値に合わせます。(楕円針、シバタ針)
 なお、丸針をご使用になる場合は、6ページのANTI-SKATING つまみのグラフをご参照のうえ、このつまみをお回しください。



■ キャビネットの水平調整

キャビネットが水平になるように、脚の部分回して調整します。

(A) 方向に回すとキャビネットが低く、(B) 方向に回すと高くなります。



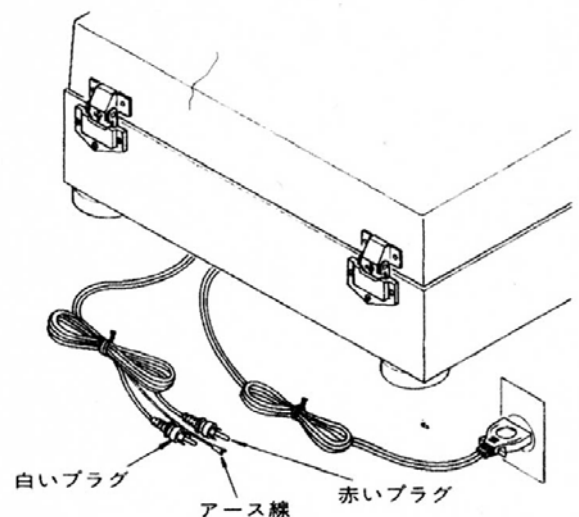
(注)・キャビネットを引きずりますと、脚がねじれることがあります。

そのようなときには、もう一度キャビネット全体を持ち上げて脚を水平にしてください。

■ アンプへの接続

シグナルコードの白いプラグを“PHONO”端子の左(L)チャンネルに、赤いプラグを右(R)チャンネルにそれぞれ接続します。

なお、アース線はアース端子へ接続してください。



主要部分の名称および働き

パワー POWER

本機に電源をいれる場合、このボタンを押し(●)てください。

45・33 インジケーター および CUEING インジケーターが点灯し、本機に電源がはいったことを表示します。なお、電源を切る場合には、このボタンを再度押して手前にもどし(■)てください。

(注)・本機では POWER ボタンを切ってもわずかな電流が流れておりますので、長時間使用しないときは電源プラグをご家庭のコンセントから抜いておくか、または アンプのコンセントを使用するときは“SWITCHED”スイッチド につないでアンプの電源と一緒に切ってください。

45・33

レコードに合わせて、ターンテーブルの回転数をこのボタンで切り替えます。

この場合、ボタンを押し(●)とターンテーブルの回転数は45回転となってインジケーターは赤に、また再度押してボタンを手前にもどす(■)と33 $\frac{1}{3}$ 回転に切り替わって、インジケーターは緑に変わります。

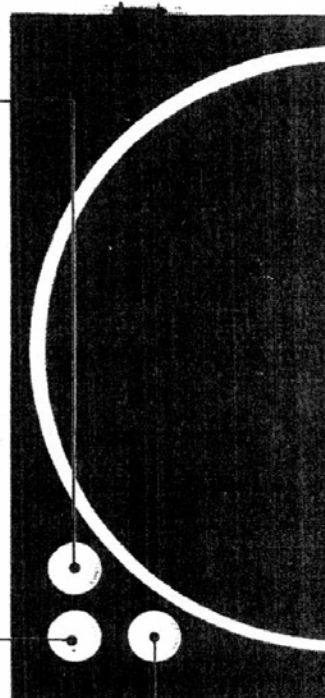
スタート ストップ START/STOP

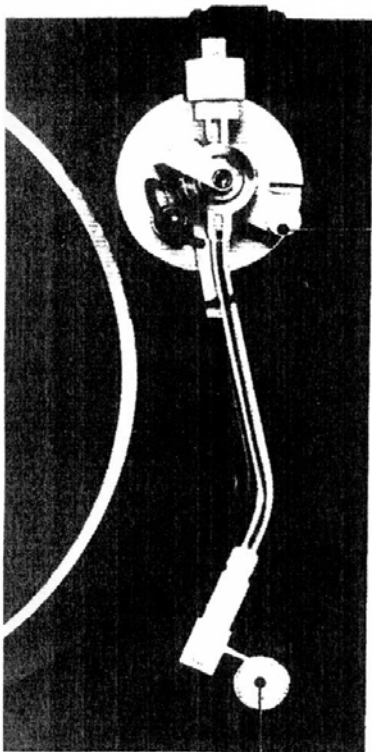
レコードを演奏する場合 または 演奏を途中で中止させる場合には、このボタンを押ししてください。

レコード演奏を開始するときにこのボタンを押すと“START”としての機能が働き、ターンテーブルが回転を始めます。

更に、正規の回転数に達し、クォーツロックの状態になりますと、インジケーターが点灯します。

また、レコード演奏中にこのボタンを押すと、今度は“STOP”としての機能が働き、インジケーターが消えてブレーキがかかってターンテーブルが停止します。

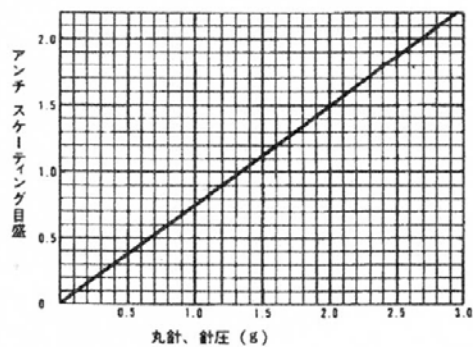




アンチ スケーティング
ANTI-SKATING

使用するカートリッジの針圧に合わせてこのつまみを回しますと、求心力によってトーンアームが内側に引っぱられようとする力を打ち消し、針先のすべりやレコードの内周溝に加わる力を防止することができます。

楕円針やシバタ針の場合は ANTI-SKATING の目盛に、使用するカートリッジの針圧と同じ数字を、また 丸針の場合には、次のグラフをご参照のうえ、該当する数字を合わせてください。



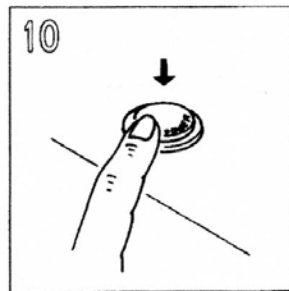
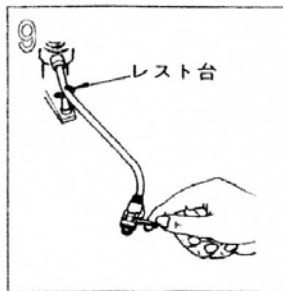
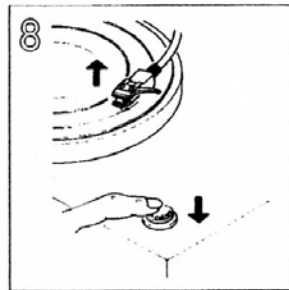
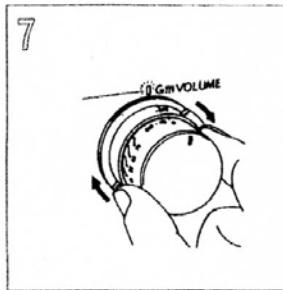
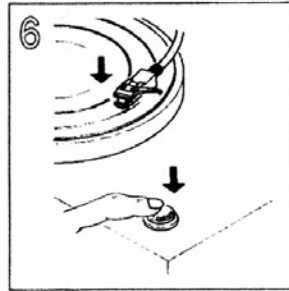
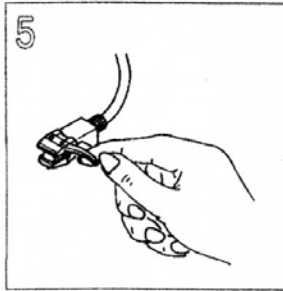
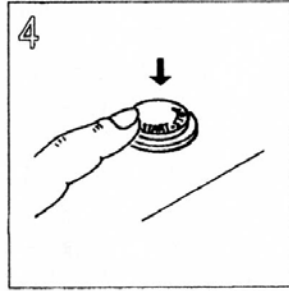
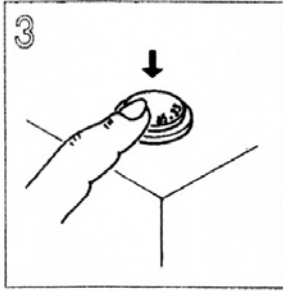
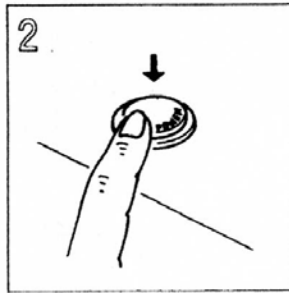
キューイング
CUEING

トーンアームをアップ、ダウンする際に使用します。

アップとダウンの切り替えは、このボタンを押すたびに交互に切り替わり、アップの状態ではインジケーターが赤く点灯し、ダウンの状態では消えます。

レコード演奏を開始するとき または レコード演奏を途中で一時中断するときを使用すると便利です。

使いかた



■ 操作

アンプの POWER スイッチを "ON"、SOURCE スイッチを "PHONO"、Tape Monitor スイッチを "OFF" にしてください。

なお、SPEAKERS スイッチがあれば、スピーカーのつながらる位置に切り替えます。

1. レコードをターンテーブルにのせます。
 なお、ドーナツ盤のように中心穴の大きいレコードの場合には、添付の EP アダプターをご使用ください。
2. POWER ボタンを押し (■) ます。
3. レコードに合わせて、ターンテーブルの回転数をこのボタンで切り替えてください。
 ボタンを押す (■) と 45 回転になり、再度押してボタンを手前にもどす (■) と 33 $\frac{1}{3}$ 回転になります。
4. START/STOP ボタンを押します。
 このボタンを押すとターンテーブルが回転を始め、正規の回転数に達してクォーツロックの状態になりますと、インジケーターが点灯します。
5. 希望するレコード溝の上までトーンアームを手で持っています。
6. CUEING ボタンを押してインジケーターが消えますと、トーンアームが静かにレコード面に降下します。(レコード演奏が終了して針先が最終溝に達すると、インジケーターが点灯してトーンアームが自動的に上昇し、ターンテーブルが止まります)
7. アンプの VOLUME つまみで適当な音量に調整します。
8. レコード演奏を途中で中止 または 中断する場合には、CUEING ボタンを押してください。
 インジケーターが点灯し、トーンアームが静かに上昇します。
9. 演奏終了後は、トーンアームをレスト台にクランプします。
10. POWER ボタンを押して、電源を切ってください。
 すべてのインジケーターが消えます。
 電源を切るとトーンアームが "DOWN" の状態になっていても自動的に "UP" の状態になります。

説明のないつまみに関しては、「主要部分の名称および働き」の項・5～6 ページをご参照ください。

調整

レコードを上手に聞くには

- レコードにとって一番の大敵は、ホコリです。針先のホコリはブラシで、またレコードはレコードクリーナーで溝のホコリをきれいにふきとってください。



ホコリは大敵



レコードクリーナーで溝のホコリをふきとってください

- 針圧が軽すぎると“針とび”を起こしたり、音が歪んだりします。レコードは常に適正針圧でお聞きください。



針先調整不良

- プレーヤーがスピーカーとくっつきあっていたり、振動の伝わりやすい所に置いてしまうと、ハウリング（一種の発振現象で「ワーン」という大きな音）を起こす恐れがあります。そのような場合には、スピーカーとプレーヤーを離しご使用ください。



くっつけない

次に示す調整は、カートリッジやヘッドシェルを取り付けたり、交換したときにのみおこなうようにしてください。

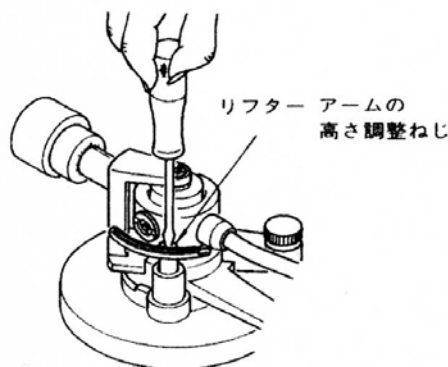
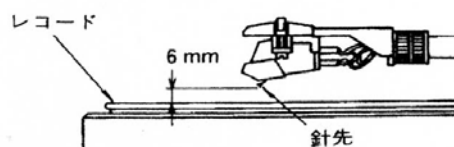
リフターアームの高さ調整

リフターアームを上昇させたとき、針先とレコードとのすき間は 6 mm 前後が適当です。

すき間がこれ以上になりますと、トーンアームとリフターアームとのすき間も場合によってはなくなり、レコード演奏ができなくなります。

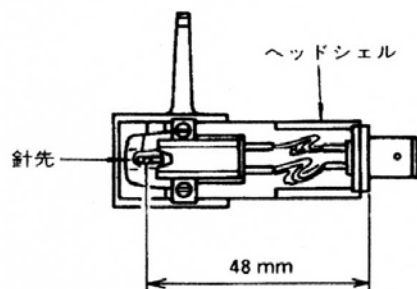
リフターアームの高さ調整ねじで、針先とレコードとのすき間を 6 mm 前後に調整してください。

なお、この調整ねじは右(↷)に回すとリフターアームが低くなり、左(↶)に回すと高くなります。



オーバーハング調整

図のようにヘッドシェルの端から針先までの寸法が 48 mm になるようにカートリッジを取り付けてください。



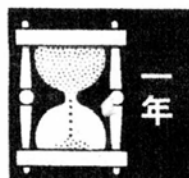
なお、±1 mm 程度の寸法誤差は、性能上問題ありませんので、安心してお使いください。

保証とアフターサービス



●保証書には購入年月日が必要

この商品には、保証書を別途添付しておす。保証書はお買いあげ販売店でお渡しすので、所定事項の記入 および 記載内
ご確認いただき、大切に保存してください



●保証期間

保証期間は、お買いあげ日より1年間で保証書の記載内容により、お買いあげ販売店が修理いたします。

そのほか詳細は、保証書をご覧ください。



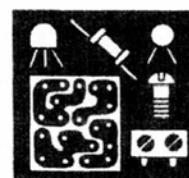
●アフターサービスのお問い合わせ

ご転居・ご贈答・その他アフターサービスについてご不明の点は、お買いあげ販売店は別紙「ビクターサービス窓口案内」をのうえ、もよりのサービス窓口にお申し、ご相談ください。



●保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料いたします。



●補修用性能部品の保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間製造打ち切り後8年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



●修理依頼

修理を依頼される時は、お手数でも一度「故障?と思う前に」の項(10ページ)よくご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときには、電源プラグコンセントから抜いて、次のことをお知らせください。

- ・型名: QL-A70
- ・住所、氏名、電話番号、道順
- ・訪問希望日
- ・故障状態をできるだけ詳しく

故障？と思う前に

— おや？故障かな？と思ったら ……………

修理を依頼する前にちょっとお確かめください —



音がでない。

コードがはずれていませんか。



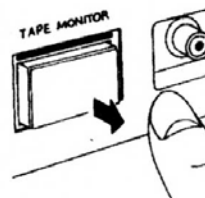
コードは忘れず、確実に、

ソース ソース セレクター セレクター の SOURCE SELECTOR の操作を誤っていませんか。



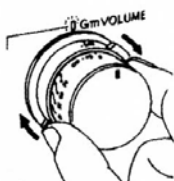
SOURCE SELECTOR の操作は正しく。

テープ テープ TAPE スイッチが モニター MONITOR になっていませんか。



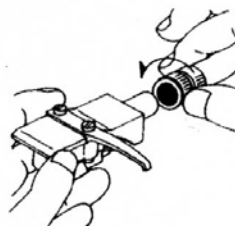
TAPE スイッチを "SOURCE" または "OFF" にしてください。

音量を絞っていませんか。



適当な音量に調整してください。

プラグイン ナットがゆるんでいませんか。

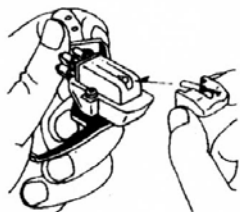


ヘッドシェルをプラグイン ナットでしっかりアームパイプに固定してください。



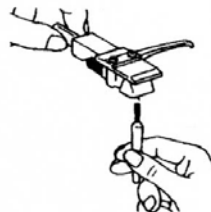
雑音で聞き苦しい。

レコード針が摩耗していませんか。



新しいレコード針に交換してください。

針先にホコリがついていませんか。



針先のホコリは、ブラシできれいにふきとってください。

レコードが古かったり、ホコリが付いていたりしませんか。



レコード クリーナーでホコリをふきとってください。

仕様

- モーター部

型式	クォーツロック コアレス DC型 FG サ ーボモーター
駆動方式	ダイレクト ドライブ
回転数	45、33 $\frac{1}{3}$ 回転
速度検出方式	周波数検出方式 (FG 方式)
サーボ型式	両方向 サーボ クォーツロック
起動特性	$\frac{1}{2}$ 回転以内 (33 $\frac{1}{3}$ 回転時)
回転ムラ	0.005 % (WRMS 回転部 FG法) 0.018 % (WRMS JIS)
S/N	80 dB 以上 (DIN-B)
起動トルク	1.4 kg·cm
回転数偏差	0.0020 % 以内
負荷特性	0 % (針圧の合計が 250 g までは回転数 の変化がありません)
ドリフト	0.0001 %/H
電圧特性	0 % (± 10 V)
温度特性	0.00005 %/°C
ターンテーブル	35 cm
クイック ストップ特性	$\frac{1}{2}$ 回転以内

- トーンアーム部

型式	スタティック バランス S字ユニバーサル タイプ
有効長	254 mm
トラッキング エラー	+1°48'、-1°12'
オーバーハング	15 mm
針圧可変範囲	0 ~ 3 g (0.1 g ステップ直読式)
適合カートリッジ重量範囲	12.5 ~ 21 g (ヘッドシールの重量を含む) 20 ~ 28 g (サブ ウェイト付)
アーム高さ可変範囲	46.5 mm ~ 54.5 mm (50 mm に設定) (キャビネット上面よりパイプセンター間)

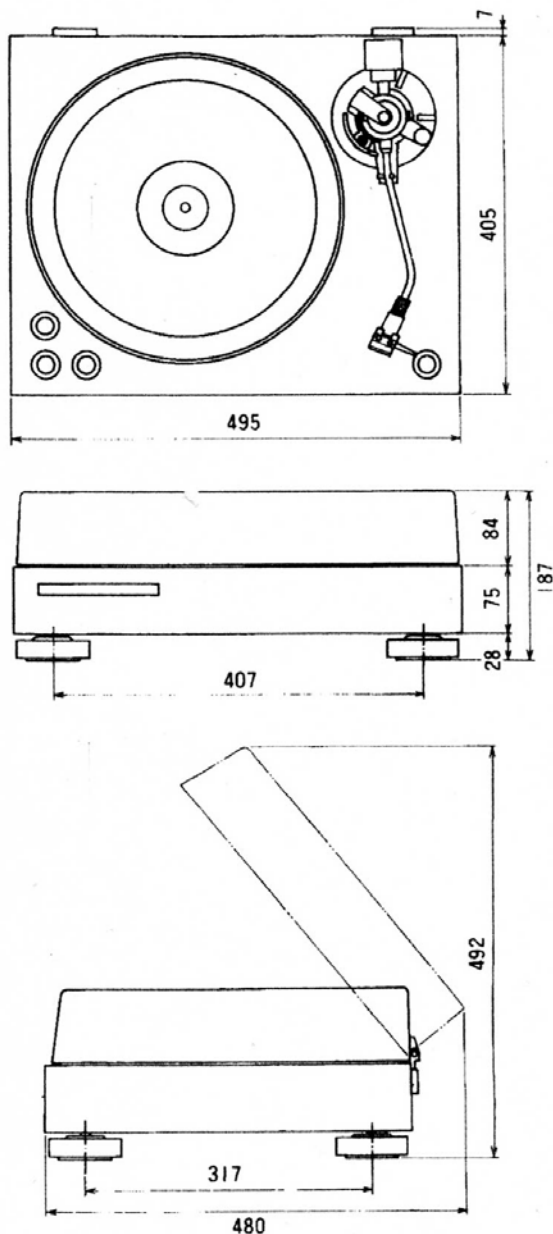
- 電源部・その他

電源電圧	AC 100 V (50 Hz、60 Hz 両用)
消費電力	演奏時：17.5 W (⊕ 電気用品取締法基準) POWER OFF 時：2.5 W
重量	12.3 kg (本体)

- 付属品**
- カウンター ウェイト……………1
 - サブ ウェイト……………1
 - EP アダプター……………1
 - ドライバー (六角)……………1
 - スクリュー……………1 セット

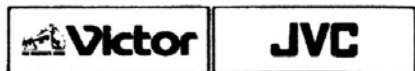
(注)・本機の仕様 および 外観は、改善のために予告なく変更することがあります。

寸法図



(注)・寸法の単位は mm です。

・上記の寸法は設計寸法ですので、ラック (棚) などに設置する場合は、若干の余裕を考慮してください。



日本ビクター株式会社

ステレオ事業部

所在地 〒242 神奈川県大和市下鶴間甲10号1644番地 電話 (0462) 74-2121(代表)
 お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター 電話 (03) 580-2861
 〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号